



ちょっとお出かけ い〜な旅  
2017/09/26 (火)

平成 29 年度 第 5 回

【信州デスティネーション期間中イベント】

大社の神霊漂う 日本の屋根の展望台

い〜なガイドの会  
プロジェクトメンバー  
金子 舜平

9月26日は、素晴らしい秋晴れに恵まれて守屋山へのトレッキングがはじまった。

守屋山は、東峰(標高 1632m)と西峰(1650.6m 1等三角点)があり、山岳信仰の山でもある。高遠町公民館 藤沢文館の守屋分館長に案内をお願いして、午前9時40分、杖突峠立石コース 入口から悠久のロマンを秘めた守屋山を目指した。

立石コースには、およそ2千万年前、海底火山の噴火により海底だった時の隆起した岩石があちこちにあり、亀石、十文字岩、平成のビーナス(木)、親子岩、夫婦岩、立石(坊主岩)屏風岩、鬼ヶ洞などのユニーク

な名前がつけられて飽きない。坊主岩からは、眼下に稲刈り真っ盛りの藤沢片倉の集落が見えた。

富士山の祭神、木花咲耶姫を祀った浅間の滝などがあり変化に富んだコースを、キノコを採ったり、トリカブトの花を撮影したりして思い思いに楽しみながら歩いた。

胸突き八丁で最後の力を振り絞り、東峰に到着。360度の絶景を楽しみ、守屋神社奥社の祠を参拝した。その昔、雨ごいのために谷底に落とされた祠は現在、鉄柵の中で頑丈にコンクリートで固められていた。

ここから西峰までは20分。苦勞のかいあり、到着したときは満足いっぱいだった。眼下には諏訪湖。見渡せばここからも360度のパノラマで、ハケ岳、入笠山、南アルプスの山々、中央・北アルプスなど、快晴の眺望に参加者は大感激。頭上には無数のトンボが飛び交っていた。

素晴らしい眺望をしっかりと心に納め、おのおののペースで無事下山。その後、信州三景観のひとつに数えられている杖突峠展望台に立ち寄り、中央構造線によって分かれた地形やフォッサマグナとの関係、地学的な岩石の説明を聞いた。